

大阪城

2024
6/20 (木)
14460
B3

全港
西成
分合会

2247
6647-
4947

熱波と雨にまじめながら、今年も一年の半分がはや終了という感じで、来月7月からは後半戦に入っていきます。

来月3日からは、千円・五千円・一万円の新札が飛び出してきて、新札を午にはじめるから、少し気分もかわるのだろう。日本銀行は、7月の会議で政策金利を引き上げる可能性もあると言っている。マイナス金利・ゼロ金利の時代から大きくかわる社会が動き出している。

今日は、東京都知事選挙の告示日で、選挙がスタートする。投開票は7/7(日)だが立候補が前回(2020年)の22人から大きくふえて、今回は50人以上になるとかいう。供託金は30万円で、得票が少なくても割なければ30万は没収になる。しかし、一つの目安で20人超の知事候補を出すとかもあり、当選より、選挙で宣伝をするためかつ、とか、新しい変わった動きを生み出しています。日本社会が、昭和のころよりは大きく変質してきているのだから、とうとうと感じます。

国会ももうじき、終り、表の政治は、9/末、秋の自民のトップを決める。自民党党員だけの総裁選挙のお祭り騒ぎになっと思っています。しかし、社会や世界は、それとは別に流動し変化していく。そちらに注目し、かがわりの、っていくのが自然の流れだろう。

スーパー玉出ハナマサと 提携5~8店舗譲渡へ

大阪の激安店「スーパー玉出」を運営するフライフィッシュ(大阪市)は14日、東京都内を中心に業務用スーパー「肉のハナマサ」を展開する花正(東京)と業務提携したと発表した。花正のプライベートブランド(PB)「フロ仕様」などの供給を受け、品ぞろえの充実を図るほか、関西進出を計画する花正にフライフィッシュの店舗を譲渡する。

フライフィッシュは大阪市内外で26店舗を展開。創業地の大阪市西成区周辺に店舗の集約を進めており、西成区以外の5~8店舗を花正に譲渡する方針。自社で生鮮や総菜のPB商品を開発中で、相互融通も視野に協力を強化する。6/15毎日新聞「スーパー玉出」どう変わる

日雇求人一段しばむ

5月の 地域求人数 (速報値)		対前月 増減比	対前年 同月 増減比
現金 (日払い)	11,132	0.9%	-7.1%
契約 (延べ数)	12,367	26.9%	3.0%
高齢者清掃 ほか	4,619	-4.0%	-0.2%

西成労働福祉センター求人情報

建設業界の抱える問題として、技能労働者の高齢同齡化・若手不足の問題がある。こうした状況の中で政府は、業界全体の魅力度を上げ、次世代の労働者を呼び込むべく、以下の3つの改善方針を掲げている。「①処遇改善②働き方改革③生産性向上」①の処遇改善に向けた取り組みとして、先月号では労務単価引上げ施策を取り上げた。

今月号では、②の働き方改革の現状について取り上げる。政府は、公共工事において週休二日を前提とした工期設定をすることも、民間工事においても週休二日を前提にした工期設定をするよう働きかけを進めている。

一方、建設産業専門団体連合会が令和5年度に実施した調査によると、「4週8休以上取得できている」と回答した企業は1割程度に留まるといふ。実際、センターで受けている契約求人の中でも、週休2日のものはほとんどない。今後、働き方改革が日雇労働に与える影響を見極めたい